Ver.2106

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので，下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも，研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

精索静脈瘤における鏡視下手術成績の評価について電子カルテデータを用いた探索的研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院　小児外科（研究責任者）小野賀功

＜研究期間＞

承認日　～　令和　（西暦　2026）年　12 月　31 日

＜研究の目的と意義＞

精索静脈瘤は，精巣血管に静脈瘤を呈する疾患です．一般的には成人領域においての男性不妊の原因疾患として広く知られております．小児の場合は，陰嚢部腫瘤，陰嚢疼痛，患側精巣の萎縮が問題となり治療適応となります．治療は外科手術で精巣血管を結紮することであり，成人領域では治療により父性を獲得する効果が期待できるとされております．小児の場合は，前述した症状の改善が期待できます．手術法には鼠径法による顕微鏡下手術と腹腔鏡下手術が代表的です．当科では 2016 年より小児精索静脈瘤に対して腹腔鏡下内精索血管結紮術を施行してきました．その治療効果と安全性を示すために本研究を計画いたしました．

＜利用する試料・情報の項目＞

検査データ，画像検査データ，診療記録

診療記録より，下記に示します項目に関する情報を収集します。

＜対象となる方＞

西暦 2016 年 1 月 1 日～西暦 2021 年 12 月 31 日の期間に小児外科で精索静脈瘤の治療を開始された方

＜研究の方法＞

診療記録をもとに評価項目に関する情報を収集します．検査項目 ：年齢，身長，体重，精索静脈瘤の分類，体表超音波検査所見(測定された精巣サイズ[長径と短径から算出される容積])，入院期間,手術時間，出血量 の情報から治療による症状消失割合，術後精巣の成長，術後陰嚢水瘤の発生頻度，萎縮精巣の頻度を評価します．そのデータをもとに当科における手術の効果と安全性を確認して適切な治療法を探索します．

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

外部への情報の提供はございません．

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

外科学系小児外科分野　　氏名：小野賀功

電話：03-3972-8111　　内線：(PHS) 8164